

2026年・春号

No.81

小美玉市議会だより  
令和8年第1回定例会



小美玉市議会



P.14

市民と議会の意見交換会  
開催のご案内

P.08

代表質問と一般質問  
2党派・7議員の視点と提案

P.02

特集 任期満了、市長集大成予算  
議会はどうか見た？

今日から新一年生 元気にスタート！



玉里学園義務教育学校の新1年生



小川南小学校の新1年生



# 任期満了、市長集大成予算 議会はどう見た？

予算特集  
たいむ



4月29日で任期満了する島田市長最後の新年度予算案が本定例会で上程されました。議会は、予算案を審議するため、議長を除く全議員で構成する予算特別委員会を設置。「市民の税金がどのように使われるか」「本当に必要な経費か」「期待される事業効果は」など様々な観点から質疑が行われ、慎重に予算をチェックしました。

ザ・議会視点  
令和8年度  
市のお金の使い道

議会の /  
ちょっと  
いいはなし

## 議論の質を向上する 「事前通告制」を採用

予算特別委員会では、あらかじめ議員が執行部に質疑を书面で送付する「事前通告制」を採用しています。事前通告制は、議員と執行部が論点を深く検討して委員会に臨むため、建設的で深い議論が行われます。

今回の事前通告数は311問です。



事前通告  
内容一覧

① 執行部から予算議案上程

② 議会の予算特別委員会で審議 質疑・討論・採決

③ 議会の本会議で審議 質疑・討論・採決

④ 予算執行

## Pick UP 議会の注目事業

### 定額タクシー実証運行の継続

高齢者の外出機会の創出と移動円滑化のため、タクシーを利用して外出する際の運賃を一部助成します。令和7年度の実証運行で出た改善点を踏まえ、よりよいサービスに向け、継続運行します。



定額タクシー（イメージ）

### 幼保園給食費の無償化・助成

市内在住の園児が通う幼稚園の給食費を無償化し、保育園で提供される給食費を一部助成します。保育園の助成額は幼稚園給食費無償化相当額の3,400円/月。市外の保育園に通う市内園児も対象となります。



市内で提供されている給食

### 自由に移動ができて安心です

市内だけでなく市外にも行けて、行先も自由に決められるのがありがたいです。ガソリンも高く車の維持も大変なので、これから高齢者や障害者の移動手段として期待しています。

おおの まさかつ  
大野 正勝さん（鷺沼）



### 家計を支える施策、学童にも

物価高騰なのでありがたいと思います。今後、学童保育の給食費も助成されるといいなと思います。

こいずみ  
小泉 めぐみさん（岡）



## 令和8年度 予算の特徴

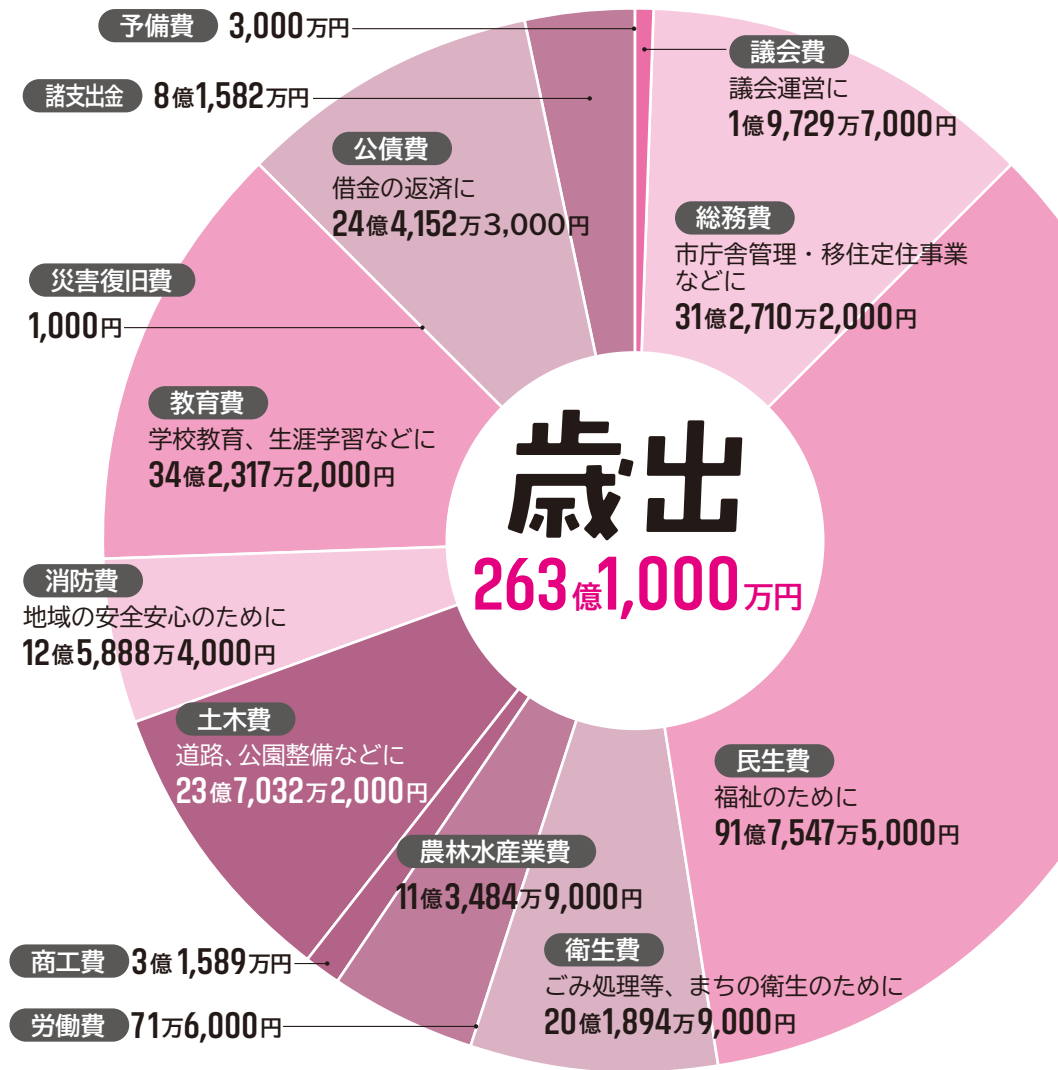
令和8年度一般会計予算は現市長最後の新年度予算となり、過去2番目に大きい予算額となりました。物価高騰対策として水道料金の負担軽減をはじめ若者世代への支援強化、新たなまちづくり推進（羽鳥駅前、百里飛行場）など様々な経費が計上されました。

## 貯金の現状は？

貯金（基金）は、人件費の増額や老朽化した施設の改修費に使われる予定のため、減少していくことが予想されますが、市税の伸びや事業の平準化によっては、増加する可能性もあります。

## 借金の現状は？

市内小中学校体育館への空調設備などのために約5億6,000万円を借入する予定です。今後は、事業の平準化を行うことにより、借金（市債）の残高は減少傾向になることが予想されますが、大規模事業を行う場合、借金（市債）は変動していきます。



### 希望ヶ丘周辺コスモス畑の今後

希望ヶ丘公園周辺のコスモス畑の事業終了に伴い、農地保全を行うとともに、造成跡地の利活用に向けた調査を実施するもの。調査では跡地利活用計画案の作成などが行われます。



旧コスモス畑（希望ヶ丘公園周辺）

### 証明書発行手数料の減免

コンビニや市の庁舎に設置されているマルチコピー機でマイナンバーカードを利用した各証明書発行手数料を300円から100円に減額します。



マルチコピー機（市役所内）

### 上水道料金の減免

物価高騰に対する経済的支援として、令和8年4月から令和9年3月請求分の水道料金の一部を減免します。減免額は1,210円/月です。



上水道料金が減免



市の子育て支援事業はこちら

### 学べる場所が少しずつ開拓

夏休みや冬休みに勉強するスペースがなくて困ってました。学習スペースの確保に向けて、ひとつ進んだことが嬉しいです！

ぬかが ほのか  
額賀 歩香さん（竹原）



## 深刻な少子化

### 出産・子育て応援事業

予算額：2,545万8,000円

全ての妊産婦・子育て世帯が安心して出産・子育てできるよう様々な支援を行うもの。

◎妊娠届出数・出産届出数の減少が著しい状況である。執行部に危機感を共有するとともに、少子化対策に関して、あらゆる手段を打っていただく覚悟を伺う。

▲少子化が加速度的に進行している現状を深刻に受け止めている。若者世代が未来に希望を持ち、本市で出産・子育てする姿を真に描けるよう、関係部局が一丸となって、少子化対策をより一層強化していく。



さらなる少子化対策が求められる

## 新交流拠点 を調査

### 羽鳥駅前交流拠点施設の調査検証

予算額：1,629万1,000円

羽鳥駅前新交流拠点施設の整備に向けて、調査・検証・事業スキームづくりを行うもの。

◎建設物価が高騰しているが、事業トータルコスト及び今後の工程をどのように見込んでいるか伺う。

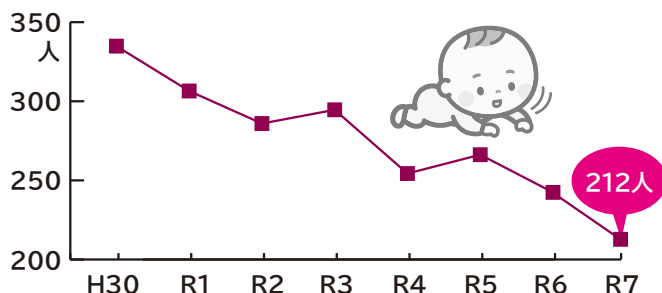
▲当調査は、事業パートナーとなる複数の民間企業と意見交換し、これらの各条件を組み合わせるなど、当地に合った事業形態を検証するもの。ご指摘の市場性を加味することは当調査の一つでもあり、工程などは当調査により検証していく。



新たな交流拠点整備が羽鳥駅周辺で検討される

予算に開眼する、主たる質疑

### 市出生数の推移



### 議会の /

ちょっといいはなし

### 羽鳥駅前交流拠点施設とは？

羽鳥駅周辺の公共施設を機能集約し、交流・子育て・図書館機能の充実を図る新施設。図書館機能では、書店関連企業などの意見を計画段階から組み入れていくことを検討している。

ザ・議会視点  
令和8年度  
市のお金の使い道



小美玉市医療センターのHPはこちら

歴史と伝統を未来へつなぎたい

幼い頃から思入れが深く、歴史と伝統、誇りに満ちた場所なので、後世に伝え残していける事業となることを期待しています。

藤井 孝一さん（坂下）



## 地域医療の将来を問う

### 医療センター経営改革事業

予算額：1億2,974万円

小美玉市医療センター開院時の建設費及び病院運営のための安定的な医療提供体制確保を目的として交付される交付金。

◎この交付金も残り4年4回。市として4年後以降の交付金終了後についての考えを伺う。

▲医療センターは、市民からの評価も高く、医業収益も増加している。一方、赤字幅は縮小しているものの赤字体質は続いている。しかし、地域医療の維持という点では存在意義はますます大きなものになると捉えている。収支の経過を注視し、地域医療存続の方向性を検討していく。



経営改革を進めながら地域医療の維持に取り組む小美玉市医療センター

## 小河城跡整備が始動

### 小河城跡地整備事業

予算額：16億6,405万9,000円

小川公民館跡地に生涯学習交流施設を建設し、旧小川小学校跡地周辺の急傾斜地整備などを行うもの。

◎急傾斜地整備工事のスケジュールは。

▲旧小川小学校の法面を令和8～9年度に、神社側の法面を令和10年度に整備する予定。

◎生涯学習交流施設整備工事の工程は。

▲生涯学習交流施設建築工事及び小川図書館・資料館改修工事、外構工事を令和8年度に着工し、令和9年度中の供用開始を予定している。



生涯学習交流施設（イメージ）

### 小美玉市医療センターの診療科一覧

総合診療科	内科・循環器内科・リウマチ内科
呼吸器内科	消化器外科
整形外科	耳鼻咽喉科・小児耳鼻咽喉科
泌尿器科	眼科
皮膚科	脳神経外科
リハビリテーション科	小児科

議会の /

ちょっといいはなし

### 新たに生涯学習交流施設を建設！

新たな生涯学習交流施設が令和9年度の供用開始に向け動き出します。この施設は、学習スペースなどに使用できるラウンジのほか、会議や様々な目的で使用可能な多目的室が設置される予定です。



第1回定例会の  
全議案の審議結果はこちら  
(市議会HP)



イメージ写真

新たにサウナの設置基準を制定

**手数料の特例に関する条例の制定**  
マイナカード保有率  
② マイナナンバーカード  
を利用することで各種  
証明書がコンビニで取  
得できるが、本市のマ  
イナンバーカードの保  
有率と直近の保有推移  
を伺う。  
① 現在の保有率は80・  
6%。令和7年4月1  
日の保有率は77%のた

め、直近で3・6%の  
増加となる。  
火災予防条例の一部改正  
市内のサウナ設備  
② 近年のサウナブーム  
により、設置基準を新  
設することだが、  
サウナ設備は市内にと  
れくらいあるか伺う。  
① 市内では現在6事業  
所、10施設から届出が  
提出されている。

**一般会計補正予算  
移住定住の促進**  
② 移住定住促進住宅助  
成金が720万円減額  
だが、利用実績は。  
① 若年世帯等住宅取得  
助成事業は57件の申請  
があり、申請者の家族  
を含め対象人数は19  
1人。わくわく茨城移  
住支援事業は0件で  
あった。

## 総務常任委員会

### 総務常任委員会

委員長：真家功  
副委員長：戸田大我  
委員：荒川一秀・長島幸男・  
村田春樹・鈴木俊一

### 文教福祉常任委員会

委員長：山崎晴生  
副委員長：宮内勇二  
委員：市村文男・田村昌男・  
大槻良明・谷仲和雄・  
内田和彦

### 産業建設常任委員会

委員長：島田清一郎  
副委員長：鬼田岳哉  
委員：福島ヤコビ・岩本好夫・  
長津智之・香取憲一

# ピック アップ

## 委員会審査

小美玉市議会は3つの常任委員会  
(総務・文教福祉・産業建設)を設置しています。  
議員はいずれかの委員会に属して議案審査に  
あたります。

第1回定例会の議案審査から、主な質疑を  
お知らせします。

議会の /

ちょっと  
いいはなし

空のえき  
そ・ら・ら

## そ・ら・らがリニューアル!

本定例会では、空のえき「そ・ら・ら」に係る様々  
な経費が計上され、慎重な審議を経て可決されました。  
リニューアルしたそ・ら・らは、塚原緑地研究所を  
指定管理者とし、既存の直売所・物産館のほか、レ  
ストラン・ドッグランなど新たな施設が入ります! 今  
後も進化し続ける  
そ・ら・らを議会  
では注視していき  
ます!



空のえき「そ・ら・ら」  
の最新情報はこちら  
(そ・ら・ら公式HP)

# 賛否が分かれた議案

議員名	鬼田岳哉	宮内勇二	戸田大我	内田和彦	山崎晴生	真家功	香取憲一	長津智之	島田清一郎	鈴木俊一	村田春樹	石井旭	谷仲和雄	長島幸男	岩本好夫	福島ヨコヒ	大槻良明	田村昌男	市村文男	荒川一秀	委員会	付託	審議結果
国民健康保険税条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	なし※		可決
「最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の陳情書	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	産業建設		不採択

○…賛成 ×…反対 一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します ※追加議案のため付託なし



オミタマヨーグルトを製造する工場（そらら内）



第三の居場所（旧キャトル・セゾン）

**乳製品加工施設**  
 乳製品加工施設の設置及び管理に関する条例の一部改正  
 ◎ 乳製品加工施設の使用料を約83万円から26万円に減額するとのことだが、減額の詳細な根拠を伺う。

◎ 昨今の社会情勢や物価高騰など、様々な要因により、事業運営を取り巻く環境が厳しさを増している。こういった中、現在使用者である小美玉ふるさと食品公社の経営状況等を踏まえ、負担可能な範囲の中で使用料を検討・協議し、設定した。

◎ 最低賃金の大幅引き上げと中小企業支援策の拡充を求める意見書」採択の陳情書  
**賛成意見** 国の物価高対策は、中小企業者への支援が少ないように感じる。本陳情は、他議会でも既に採択されており、賛成である。  
**反対意見** 最低賃金を1700円にするということは、現在の1074円と比較すると大幅な賃上げである。経営者の負担が大きくなるため、今回は見送るべきと考える。

## 産業建設常任委員会

**子どもの居場所**  
 ◎ 利用ニーズと利用人数の見込みは。  
 A 教育支援センターの設置やその他学習支援等を想定しており、20名以上の登録者を見込んでいます  
 ◎ 学習支援や家庭支援など様々な相談が想定

◎ 子どもの第二の居場所の設置及び管理に関する条例の制定  
 されるが、専門職を配置するのかが。  
 A 既に市内のフリースクール等を受託しているNPO法人への委託を予定している。

◎ 幼稚園の送迎バス  
 一般会計補正予算  
 ◎ 幼稚園送迎バス運転業務委託料は、ルートの見直しによる減額であるが、園児が一番長  
 く乗車している時間はどのくらいか。  
 A 約50分である。  
**要望** ルートの見直し等により一番長く乗る園児の負担が大きくなるように、今後も適正な運行管理を要望する。

## 文教福祉常任委員会

# 代表質問 一般質問

## ●代表質問

創生小美玉 真家 功 議員…………… P9

- ・希望ある市の実現に向け令和8年度予算は

令和会 香取 憲一 議員…………… P9

- ・若者・子育て世代への支援強化に期待する

## ●一般質問

戸田 大我 議員…………… P10

- ・小児オンライン診療の体制整備の進捗は
- ・部活動の費用負担軽減

谷仲 和雄 議員…………… P10

- ・福祉総合相談センターの位置づけと役割は
- ・こどもの居場所づくり

内田 和彦 議員…………… P11

- ・感震ブレーカーの普及促進を
- ・AEDの有効活用

鬼田 岳哉 議員…………… P11

- ・身近な交差点やロータリーの渋滞・安全対策は
- ・導水工事用道路の利活用
- ・旧下吉影小学校売却に向けて

村田 春樹 議員…………… P12

- ・茨城空港を活用した子どもの移動支援を
- ・開庁時間短縮と対策
- ・移動期日前投票所拡充

福島 ヤヨヒ 議員…………… P12

- ・補聴器購入費助成事業の詳しい説明を
- ・廃プラスチック処分補助を
- ・火災予防の徹底（野焼き）

山崎 晴生 議員…………… P13

- ・地域区分の見直しで地域介護基盤の維持を
- ・市営住宅再編の方向性は

## 2会派と 7議員の 視点と提案



第1回定例会の  
一般質問通告一覧  
はこちら  
(市議会HP)

### 【代表質問】

第1回定例会において、市長が提案した新年度当初予算案や施政方針に対し、各会派の代表が登壇し、向こう1年間の政策方針を総括的に質問するものです。

### 【一般質問】

市政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、市政をより良い方向へ導くものです。

※代表質問・一般質問の掲載記事は議員本人が作成しています。



### 希望ある市の実現に向け令和8年度予算は

そうせいおみたま  
**創生小美玉**



録画映像

## 答弁 強い連携のもと市政一丸となり未来を切り開く

**問** 物価高騰対策である上水道使用料金の減免の具体策を伺う。

**答** 市長 毎月請求である玉里地区の基本料金(1210円)を基準とし、隔月請求の小川・美野里地区はその2カ月分(2420円)をそれぞれの請求月に減免する。

**問** 子育て・若者世代への支援強化の内容を伺う。

**答** 市長 公立幼稚園の給食費を無償化する。私立保育所等にも給食費として、幼稚園を基準に1人月額3400円を補助する。また、未就学児の保護者が24時間365日医師にチャット相談できる無料アプリを提供し、若者世代を支援する。

**問** 茨城空港前や羽鳥駅前エリアの新たなまちづくり推進を伺う。

**答** 市長 空港前は「学習・体験」をコンセプトとした交流拠点を計画し、「そ・ら・ら」の機能追加も検討する。議員提案のLRT(※1)導入については、公共交通ネットワークの拡充に向けた重

要な視点と認識している。増加が見込まれる茨城空港の旅客需要に対応するため、引き続き茨城県と連携していく。羽鳥駅前は官民連携による賑わい創出に向け、全国の企業と意見交換を重ね、都市計画の見直しを進める。

**問** 市内に3つある文化ホールの今後の在り方を伺う。

**答** 市長 人口5万人弱で3館を維持することは、将来世代への大きな財政負担となり得る。そのため、学識経験者や市民等で組織する検討委員会を設置し、望ましい方向性を議論する。

**問** 市役所の開庁時間短縮による影響と対策を伺う。

**答** 市長 7月より開庁時間を前後計60分短縮する。一方で、オンライン申請入口の一元化やコンビニ交付手数料の減額など「スマート窓口」を推進し、市民サービスの利便性を維持・効率化する。

※1 LRT…従来の路面電車より高速・高頻度、バリアフリーで快適な移動を提供する次世代の軌道系公共交通システム



### 若者・子育て世代への支援強化に期待する

れいわかい  
**令和会**



録画映像

## 答弁 希望を持って歩める支援を力強く推進する

**問** 子育てサポートズを始めとした各種ボランティアの皆さんや子育て世代の皆さんへのメッセージを願う。

**答** 市長 子育て支援を単なる福祉の一端に留めず、本市の未来を形作る重要な投資と位置付けている。今後とも子育てサポーターズの皆さんを始め、地域ボランティアの皆様と一緒に手を取り合いながら若者の心に寄り添い、希望を持って歩める支援を力強く推進していく。

**問** 文化ホールの今後の在り方について、市長の見解を伺う。

**答** 市長 文化ホールにおいて、市民の皆様より様々なご意見やご指摘等をいただきながら検討を進め、より良い方向性を見出していく。

**問** こども第三の居場所の創設についての詳細は。

**答** 市長 様々な困難を抱える子ども達に家庭や学校でもない第三の

居場所を提供する事を目的として、教育と福祉分野が連携を図りながら学習支援等を行っていく。運営開始に向け校内フリースクール運営実績のあるNPO法人と協議を行い、民間活力の参入を視野に入れた運営体制作りを進めている。

**問** 定額タクシー「おみタク」について伺う。

**答** 市長 1回目の実証運行において多くの方々に利用をしていたが、目的や移動距離、利用時間等の課題が把握できた。なりすましと思われる不適切な利用なども確認された事から、身分確認を求めるとともに、運行区域や受付時間、使用料金など、より良いサービスに向けた改善を図っていく。

◎その他の質問  
・保育施設等への巡回相談事業の詳細は  
・スマート農業の推進について



小児オンライン診療の体制整備の進捗は

とだ だいが  
戸田 大我



録画映像

答弁 未就学児の24時間オンライン医療相談から



▲医療相談アプリ（イメージ）

**問** 昨年度要望した小児オンライン診療の整備状況は。

**答** 保健衛生部長 ことも家庭センターにおいて医療アプリの導入を検討してきた。令和8年度は未就学児がいる市内約1300世帯を対象にオンラインでの医療相談を実施する。これにより、医師による24時間体制のオンライン相談が可能となり、急な体調不良に対して専門的な助言が受けられる。現在、いばらき県央地域でオンライン診療の導入が検討されており、関係自治体と連携を強化し、広域的な枠組みにおけるオンライン診療導入に向けて積極的に参画していく。

**問** 部活動の地域移行（展開）に伴う費用負担の軽減策の方向性は。

**答** 教育長 今後、地域展開を本格的に進めるに当たり、保護者負担の過度な増加を招かない仕組みづくりが重要であると認識している。他自治体の先進事例、国の動向を注視し、軽減策について検討を進める。

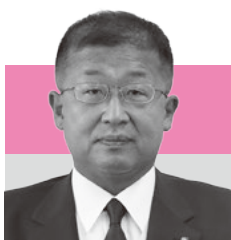
**問** 部活動の地域移行（展開）に伴う費用負担の軽減策の方向性は。

**答** 教育長 今後、地域展開を本格的に進めるに当たり、保護者負担の過度な増加を招かない仕組みづくりが重要であると認識している。他自治体の先進事例、国の動向を注視し、軽減策について検討を進める。

**要望** 部活動の地域展開において、費用負担軽減のニーズは明らかであるので、原則受益者負担があるにしても、時期を捉えて市からの補助をきちんとつける施策を実施できるように準備をされたい。



◎その他の質問  
・市内消防署の適正配置の手立てを



福祉総合相談センターの位置づけと役割は

やなか かずお  
谷仲 和雄



録画映像

答弁 包括的相談支援・多機関協働の調整にあたる

**問** 重層的支援について、新設の福祉総合相談センターの位置付けと包括的相談支援・多機関協働の進め方を問う。

**答** 福祉部長 福祉総合相談センターの役割として、従前の地域包括支援センター業務のほか、重層的支援体制の担当窓口となる。福祉相談支援係がこの事業を担当し、包括的相談支援・多機関協働事業を主として行う。包括的相談支援・多機関協働事業の進め方については、介護・障がい・子ども・困窮などの相談支援について、それぞれの支援機関で対応をしていただく。その中でも、横断的な対応が困難な事例については、福祉総合相談センターの福祉相談支援係に繋いでいただく流れになる。

**問** 子どもの居場所づくり

**答** 福祉部長 居場所の評価方法を問う。福祉部長の本質は「安心して過ごせる」「自分らしくいられる」など、安心感や自己肯定感といった心理的側面にある。継続的な改善につなげていくため、数値で説明可能な成果と、子どもの声に基づく質の評価の両立を図りながら実効性のある居場所づくりを推進していく。



▲四季文化館みの~れの「ぬり絵ワークショップ」

※子ども計画では、四季文化館みの~れでの体験機会づくりも「子どもの交流の場・居場所の充実」の一つ。

**問** 子どもの居場所づくりにおいて、成果主義では表せないもの。子ども計画・子どもの居場所づくりにお



### 感震ブレーカーの普及促進を

うちだ かずひこ  
**内田 和彦**



録画映像

### 答弁 設置推奨を条例で追加し、イベントで普及推進する

**問** 地震発生時の二次災害である「火災」を未然に防ぐための感震ブレーカー（※1）の設置普及について、過去の大規模災害を振り返り、原因が特定された火災のうち約6割が停電からの復旧時に発生する「通電火災」が被害を拡大させた要因の一つとして挙げられる。感震ブレーカー普及促進策を伺う。

**答** 消防長 国の動向を踏まえ、この度、火災予防条例の中で感震ブレーカーの設置を推進事項として追加し、今後地域防災計画にも盛り込むこととしている。また、普及促進策としては、各地区コミュニティの防災イベントなどの機会を有効に活用して、感震ブレーカーの普及に努めていく。

### AEDの有効活用

**問** 県内のAED（※2）設置数は増加傾向にあるが一般市民がAEDを使用した割合は依然として低水準にある。「設置は

されているが使われていない」という現状の背景には主に3つの障壁が存在する。心理的な障壁、物理的な障壁、教育知識の障壁。本市のAED使用率を劇的に向上させるための具体的な行動へスピード感を持って取り組むべきと考えるが見解を伺う。

**答** 消防長 毎月1回、誰でも受講が可能な講習会を行うほか、事業所や市民団体の要請に応じた講習会を随時実施するなど、AEDに対する市民の知識と技術の維持に努めていく。心停止の救命措置として極めて効果的な機器であることから、万が一の際に確実に機能するよう適正管理に努めていく。



▲ AED（市本庁舎内）

※1 感震ブレーカー…地震の揺れを検知し、設定震度以上で自動的にブレーカーを落とす機器

※2 AED…心停止患者に自動で心電図を解析して電気ショックを与え、正常なリズムに戻す医療機器



### 身近な交差点やロータリーの渋滞・安全対策は

おにた たけや  
**鬼田 岳哉**



録画映像

### 答弁 県や警察署等と連携し、対策を順次進める

**問** 堅倉中央交差点（国道6号）の右折渋滞対策を伺う。

**答** 都市建設部長 警察署へ右折信号機の設置要望書を提出した。今後もデータを収集し、粘り強く要望を継続する。



▲ 堅倉中央交差点

**問** ファミリマート美野里羽鳥店前交差点の渋滞対策を伺う。

**答** 都市建設部長 信号の切替え時間を調整し、渋滞が改善された。

**問** 羽鳥駅西口ロータリーの安全対策を伺う。

**答** 都市建設部長 喫緊の安全対策として、路面標示の改善措置を実施した。現在、一時停止や横断歩道等の設置を含め、関係機関と協議を継続中である。

### 導水工事用道路の利活用

**問** 霞ヶ浦導水工事完了後、堅倉の工事用道路（※1）を、市民の利便性維持のため継続活用できないか。

**答** 市長公室長 国土交通省は令和8年度以降、借地部分の返還や、一部道路の撤去・幅員縮小を計画している。市としては、一般通行の可否などを国に確認したうえで、地元意向も考慮し、協議を進める。本市にとっての最適解を検討していく。

### 旧下吉影小学校売却に向けて

**問** 当施設は充実した設備を持つ一方、売却額や維持費が高額となる。民間事業者へのアプローチ手法と選定で重視する点を伺う。

**答** 副市長 県企業誘致部や、台湾の関係者、その他ネットワーク等、トップセールスで全国・海外へアピールする体制とした。また、売却による市との関係性消失を防ぐため、「地域貢献の度合い」を重視し、それに資する提案には「建物の無償譲渡」を最大限に訴求する。

※1 堅倉の工事用道路…6号国道からタイヨー美野里店の北側までを結ぶ工事用の道路



茨城空港を活用した子どもの移動支援を

むらた はるき  
村田 春樹



録画映像

答弁 制度化の可否を調査・研究する

**問** 茨城空港を活用し、子どもの航空券代を3割補助する新たな子育て・移動支援制度の創設について伺う。

**答** 福祉部長 子育て支援の充実や交流機会の拡大、地域振興など複数の効果が期待できる施策である。対象範囲や財政負担など慎重な検討も必要だが、茨城空港は子どもたちの視野を広げる貴重な社会資源と認識している。他自治体の事例調査や空港利用促進策との連携も含め、制度化の可否について研究していく。

開庁時間短縮と対策

**問** 職員の働き方改革に伴う開庁時間の短縮と、市民サービスを低下させないための具体策について伺う。

**答** 総務部長 7月1日開庁を午前8時45分から午後4時30分に見直す検討をしている。水曜の延長窓口は継続し、夜10時まで開庁す

る羽鳥ふれあいセンターへのキオスク端末設置やコンビニ交付手数料の減額など、利便性向上を図る。



▲開庁時間の短縮を検討

移動期日前投票所拡充

**問** 移動式期日前投票所の利用状況と、投票所集約による経費削減効果、今後の展開について伺う。

**答** 総務部長 直近の選挙での移動投票所利用者は開設当初の3倍以上に増加し、定着してきた。また、投票区再編等で約400万円の費用削減効果を確認した。今後も開設場所の最適化を図り、若年層の投票機会確保に努める。



補聴器購入費助成事業の詳しい説明を

ふくしま  
福島 ヤヨヒ



録画映像

答弁 今年4月から開始し、上限3万円を助成

**問** 補聴器購入費助成事業の詳細を伺う。

**答** 福祉部長 補聴器購入費助成事業は、令和8年4月から開始する。助成額は購入費用の2分の1とし、上限を3万円とする。対象条件は3点。①本市に住所があり、65歳以上であること②聴覚障害による身体障がい者手帳の交付を受けていないこと③耳鼻咽喉科等の専門医から、補聴器の使用が必要と認められていること。

**問** 難聴早期発見のための検診制度を求め、検討状況を伺う。

**答** 福祉部長 住民検診は、関連法令に基づく検査であり、難聴の検査は含まれていない。耳の不調を感じた際は早期に専門医に相談することが最も確実で、安全性が高く、効果的であるため、高齢者への周知を図り、医療機関等への受診を勧めていく。

廃プラスチック処分補助を

**問** 農業用廃プラスチック補助制度の存続について伺う。

**答** 産業経済部長 市独自に支援を行ってきたが、産業廃棄物として排出者に処分が義務付けられているため、受益者負担と公平性から本補助事業を存続することは困難と判断した。今後は、認定農業者に資材高騰対策支援を行うつつ、市独自の農業支援の在り方を検討していく。

火災予防の徹底（野焼き）

**問** 野焼き対策と周知方法について伺う。

**答** 消防長 対策として、野焼き届け出者に対しリサイクルの案内を行うほか、環境課とともにパトロールを実施している。悪質な事案は警察への通報を行っている。周知については、市広報紙やHP、防災無線での呼びかけのほか、消防団による夜警活動、関係団体と連携した防火イベントなどにより火災予防の周知を図っている。

◎その他の質問

- ・やる気を育む人事体制
- ・自然エネルギーの活用



# 地域区分の見直しで地域介護基盤の維持を

やまざき はるお  
**山崎 晴生**



録画映像

## 答弁 地域区分の引き上げを国に要望

**問** 介護人材確保、事業運営に与える影響は。

**答** 福祉部長 介護報酬の地域区分は、地域ごとの人件費水準の差を調整する制度であり、小美玉市は現在「その他の地域」とされ、上乗せは0%である。介護人材の確保においては、介護報酬の上乗せに効果が期待でき、積極的に取り組んでいく。事業所運営面でも、人材確保の効果が見込まれ、経営の安定化、サービスの質の向上など、健全な事業所運営につながる。職員給与の地域手当との均衡を保ちつつ、財源的な面も考慮した上で慎重に検討していく。

**提案** 地域区分見直しと介護基盤維持策の具体化を計画に位置づけ、市民の理解を得ながら着実に進めるよう求める。

**再編の方向性は市営住宅**

**問** 市営住宅再編の進捗と今後の方向性は。

**答** 都市建設部長 公営住宅等長寿命化計画に基づき、解体予定の木造住宅入居者に対し、通知や個別訪問による移転交渉を進めており、上吉影住宅では移転完了または見通しが立っている。管理戸数は現在229戸で、計画に基づき15年後に116戸、最終的に30戸を目指す。総事業費は解体、改修、建替えを含め約7億3130万円を見込んでおり、国補助金を活用する方針。また、30戸規模の住宅は低所得者や少人数世帯向けを想定し、不足分は民間のセーフティネット住宅などの活用を検討する。

**提案** 住まい確保の導線整理と相談支援体制の具体化を提案する。



### 本会議のライブ中継・録画映像が視聴できます

令和8年第1回定例会アクセス数……814件  
これまでの累計アクセス数……2万4653件

スマホ・タブレットから



小美玉市議会 HP



パソコンから

小美玉市議会



#### ライブ中継

LIVEが表示されている会議を選択し、ライブ中継をご覧ください。

#### 録画映像配信

インターネット中継を行った過去の本会議をご覧ください。

## 「市民と議会の意見交換会」開催のご案内

- 1 開催日 令和8年7月4日(土) 13:30~16:00
- 2 場所 小美玉市役所本庁舎2階 第2・3会議室  
(小美玉市堅倉835番地)
- 3 テーマ 小美玉市の10年後の未来を考える

【防災・減災】「自分たちで守る小美玉」  
～ご近所連携から考える、これからの地域防災～

【農業・食】「小美玉の『美味しい』を未来へ」  
～特産品(酪農・レンコンなど)を活かした新ブランド戦略～

【若者の定住・還流】「帰ってきたくなる・住み続けたくなる小美玉」  
～若者世代が求めるまちの姿とは?～

### 4 申し込み先：0299-48-1111(議会事務局)

へお電話いただくか、  
下記二次元コードからお申込みいただけます。



令和7年7月5日に行われた  
意見交換会では、18人の方  
にご参加いただきました。



### 特別委員会 からの報告

茨城空港アクセス道路と6号バイパスを利活用したまちづくり特別委員会  
が最終報告し、調査研究を終了することにしました

## 道路がつなぐ、人・まち・未来



本特別委員会は、令和5年12月に、茨城空港アクセス道路及び国道6号バイパスを中心とした周辺整備について調査・研究を行い、まちづくりの促進を図ることを目的として設置されました。

これまで、「小美玉市新まちづくり構想」を基本に、執行部から事業の進捗状況の説明を受けるとともに、委員間で意見交換を重ねながら、周辺整備の方向性や課題について幅広く検討してきました。

また、県の担当者を招いた研修や先進地視察を通して、企業誘致や産業振興に関する理解を深め、本市の将来に向けた多くの知見を得ることができました。

こうした活動を通じ、道路整備と一体となった地域活性化の重要性について、委員会として共通認識を持つに至りました。一方で、6号バイパスについては、国との調整が続いており、現時点では具体的な周辺整備計画を示す段階には至っていません。このため、本委員会は、これまでの調査・研究の成果と課題を今後の施策に生かしていくことが重要と考え、ここで活動に一区切りをつけることといたしました。

今後は、国や県の動向を注視しながら、市民・議会・執行部が連携し、将来につながるまちづくりが進むことを期待しています。

前号 (No.80) のプレゼントクイズに寄せられたご意見や感想の一部をご紹介します！



議会にとどいた

# 市民のホンネ

大切にします！  
市民の声

届いた声をカウント  
(2025.8.1~)

現在  
187人

## 教育に注目しています

一般質問で特に印象を得たのは鈴木俊一さんでした。私は子育てをしている母ですので、教育に重点を置いている点で「タブレット活用」は今の教育の重要テーマなので時代に合った政策だと思いました。(川戸・I)

## 規制が必要

太陽光事業者からパンフレットが送られてくるけれど、お金儲けだけで乱開発でしかありません。条例で規制する必要があると思います。(中野谷・S)

## 一般質問にもっと注力を

前回からデザインがぐっとよくなりました。ただ、あまり特集記事にばかり力を入れているような感じなので、一番肝心な一般質問のページをもっと注力してほしいと思います。記事自体はよくできていると思うだけに少し残念です。レイアウトや区切りの入れ方、文字の色などを少し工夫するだけでもよくなると思います。(羽鳥・T)

## 議員の活躍に期待

議会広報がおみたくいむになってから、議会がよりわかりやすく身近なものになりました。小美玉市がますます発展していけるように議員の皆様の活躍に期待しています。次号も楽しみにしています。(栗又四ヶ・C)

## 身近に感じられる

敷居が高いように思っていた議会だよりが、リニューアル後は身近に感じられるようになりました。小美玉市のことをたくさん知るいい機会になりました。(野田・O)

## 緊急時にも対応できる地域に

市民と市議会には強い関連が足りず、議会が何をしているのかわからない中での広報誌はありがたいです。以前よりも身近に感じます。せっかく空港があるならば、ホテルや商業施設など、周辺の地域に他県からも足を運びやすく、緊急時にも対応できる地域になってほしいです。(竹原・F)



全文はこちら  
(議会HP)

知りたい・聞きたい・みなさんの声

# 今号を読んで当てよう！

## 第78回 プレゼントクイズ

Mail [gikai@city.omitama.lg.jp](mailto:gikai@city.omitama.lg.jp)

FAX 0299-48-1199

応募締切

2026年 5月31日(日)

※当日消印有効



当たる!

¥2000

GIFT CARD

今回の議会だより第81号の中から、問題を3つ出題します。

正解した方の中から抽選で10名に「QUOカード2,000円分」をプレゼント！

ぜひご応募ください！



令和7年度の  
出生数は

〇〇〇人



一般質問で市営住宅再編に  
ついて答弁した部長は

〇〇〇〇部長



令和8年  
第2回定例会は

6月〇日開会予定

電子申請・はがき・FAX・メールで住所、氏名、「クイズの答えを明記」してご応募ください。

また、議会や本紙に対するご意見やご感想をあわせてお寄せください。

〒319-0192 小美玉市堅倉835 小美玉市議会事務局宛



応募はこちら↑

◆応募に関する個人情報はプレゼントの送付以外には利用しません。 ◆当選者の発表はQUOカード発送をもってお知らせします。

◆前回 第77回クイズの正解 問①…産業建設 問②…産業経済 問③…24

報告  
たいむ

## 市民のための政策実現へ



県市議会議長会の研修会に4名の議員が参加

**参加議員** 山崎晴生、内田和彦、戸田大我、鬼田岳哉

**研修内容** 「これから期待される地方議会とは何か」をテーマに、建設的な政策議論をするに当たり、勘ではなくデータに基づく議論の必要性を学びました。

**議員コメント** 本研修で、自治体政策における客観的データの重要性を改めて理解しました。根拠あるデータに市議会議員としての熱量を掛け合わせ、市民のための政策実現に取り組んでまいります。  
(鬼田)

議員研修

議会のリアルを傍聴で！

日	月	火	水	木	金	土
2026年 6月	1	2 議会運営委員会 本会議 開会	3 議案調査	4 議案調査	5 議案調査	6
7	8 議案調査	9 議案調査	10 本会議 代表質問 一般質問	11 本会議 一般質問	12 本会議 一般質問	13
14	15 常任委員会	16 常任委員会	17 常任委員会	18 特別委員会 予備日	19 議会運営委員会 本会議 閉会	20

- 議場は市役所本庁舎3階。予約不要／受付あり(氏名・住所等)
- 委員会等の日程は本会議(6月2日(火)開催)で決定します。  
議会事務局 Tel. 0299-48-1111(内線1302)にお問い合わせください。

**本会議** 傍聴できます (モニター放映あり)

**委員会** 傍聴要確認 (モニター放映なし)

次の定例会は 6月2日(火)開会予定



堅倉小学校の新1年生

編集のそのあとで 夢を描ける街に 歩みを進めよう

今月号の表紙は、希望に胸を膨らませた新小学一年生です。輝く笑顔に心洗われる一方、本市の少子化は予測を上回る速さで進んでいます。今年二十歳のつどいに参列した方は374人でしたが、20年後は260人ほどになってしまいそうです。現状を重く受け止め、市と議会が一丸となり、子育て支援や環境整備など実効性のある施策を力強く推進しています。表紙のような子どもたちの笑顔があふれる未来を守るためには、私たち大人が「小美玉に住んでいて良かった」と胸を張って語れる街でなければなりません。次代を担う宝たちが、この街で健やかに育ち、夢を描けるよう、市民の皆様とともに確かな歩みを進めてまいりましょう。